

ホルムアルデヒド放散等級	
F ☆ ☆ ☆ ☆	
防火材料等認定品	
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

JIS K 5663 1 種 合成樹脂エマルションペイント

ペジ70エコ

環境配慮形内装用水性艶消塗料

室内には、
より安全で安心な塗料を。

低VOC
超低臭

F☆☆☆☆

優れた
作業性

豊富な
色相

用途

建築内装 新築、改修用の上塗り塗料
一般住宅、学校、病院、老健施設、店舗、事務所、公共施設ホールなど

適用箇所

建築物室内壁面、天井面
コンクリート、モルタル、プラスターボード

荷姿

容量	色相	艶
20kg 4kg	白、調色 (淡～濃)	艶消



神東塗料





標準塗装仕様

工 程	塗 料 名 (希 釈 剤)	希 釈 率 (%)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗 回 数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
下地調整	改修…ごみ、ほこり、チョーキング粉、旧塗膜の脆弱部をサンドペーパー等を用いて除去する。 しみ等がある場合は、中性洗剤等を用いて除去し、その後十分に水拭きし、乾燥させて 清浄な面とする。 新設…エフロ、レタンス、汚れ等をワイヤブラシ、サンドペーパー、ウエス等を用いて除去し、 乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	下地の状況に応じて、下塗り材を選定してください。					
上塗り-1	ページ 70 エコ (水道水)	5～15	0.10～0.13	1	3時間以上	はけ、ローラー
上塗り-2	ページ 70 エコ (水道水)	5～15	0.10～0.13	1	—	はけ、ローラー

- ・ページ 70 エコは、内装用塗料のため屋外、半屋外箇所壁面などの耐候性を求められる箇所への塗装は避けてください。
- ・当社では、クリヤーシーラーが非 JIS 品のため国交省 建築工事標準仕様書に対応することができません。ご注意ください。
- ・仕様中の数値はすべて標準値です。使用量は被塗物の形状や吸い込みの状態によって、増減することがあります。

注意事項

■施工上の注意

1. 気温および被塗面温度が 5℃以下、湿度 85%RH 以上での塗装を避けてください。
乾燥遅延などの不具合が生じやすくなります。
2. 常時結露が発生する場所や、著しい結露が発生する場所での塗装は避けてください。
乾燥遅延、塗膜膨れ、はがれ、しみなどの不具合が生じる場合があります。
3. 塗装後に結露が予想される場合は塗装を避けてください。
(特に早朝、夕刻の結露には注意してください。)
4. 常時ものが置かれる家具等(テーブル、椅子、ベンチ、棚、カウンターなど)には、
色移り、粘着のおそれがあるため塗装をしないでください。
5. コンクリート、モルタル面への塗装は、表面含水率 10%以下(ケット科学研究所製
CH-2)または 5%以下(ケット科学研究所製 HI-500 シリーズ)で、アルカリ度は
pH10 以下を確認してから塗装してください。
6. ページ 70 エコは、内装用塗料のため、屋外、半屋外箇所壁面への塗装は避けてく
ださい。
7. ケイ酸カルシウム板等の著しい吸い込み面に塗装の場合は、下塗りに「シントー水
性 M シーラー」(JIS 表示品ではございません)を用いてください。
8. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
9. 所要上限を超えての希釈は避けてください。仕上がり性に不具合を生じる場合があ
ります。
10. ドアまわりのパッキンやゴム、プラスチックなどの可塑性を含むものと接触する部
位への塗装は避けてください。
11. 濃彩色や原色に近い色相は、塗膜を擦ると色落ちすることがあります。衣類などが
触れる可能性のある部位への塗装は避けてください。
12. 上塗りに黄色、赤系などの彩度の高い色を使用する場合は、隠ぺい性を高めるため、
共色(淡彩)に調色した下塗りを塗装してください。
13. 塗装方法により、仕上がり肌が異なるため、若干の色差がでます。はけ塗りとロー
ラー塗りが混在する場合は、はけ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
14. ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
15. 被塗物の形状や、塗装条件(膜厚、塗回数、塗装方法、希釈率)の違い、塗り継ぎ
箇所などで、色や艶が異なってしまうことがあります。事前に試し塗りで確認して
ください。本施工を行う際には、面を区切って通して塗装してください。
16. 補修用に使用する塗料の控えを必ずとっておいてください。
17. 補修塗りは、使用された塗料と同一ロットのものを、同一の塗装方法で実施して
ください。
18. 塗装中または塗装終了後の乾燥中は、換気を十分に行ってください。

■取扱いに関する注意

1. 指定品以外の他品種塗料、および希釈剤との混合は絶対に行わないようにしてくだ
さい。
2. 塗料の取扱いは、屋外または換気の良い場所で行ってください。
3. 塗料取扱い、および塗装作業の際は、必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、
マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないよう注意してください。
4. 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌して均一な状態
にしてください。
5. 小分けするときは、使用するさげ缶はきれいなものを使用し、十分にかき混ぜた塗
料を小分けしてください。
6. 塗料開缶は原則として、使用する直前に行ってください。
7. 開缶後や作業中断時など、塗料の入った容器には常時蓋をするよう心がけてくださ
い。
8. 塗料取扱い後、塗装作業後は手洗いうがいを十分に行ってください。
9. 使用した塗料器具は、直ちに水洗いしてください。塗料が固まって落ちにくい場合
はラッカーシンナーで洗浄してください。
10. 現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない風通しのよい場所で
保管してください。また、未開封の塗料缶は、直射日光を避け、屋内倉庫に貯蔵し
てください。

■塗装に関する注意事項

1. シンナー類の混合は絶対に避けてください。
2. 被塗面の形状、素地の状態、気象条件、施工条件により、使用量、塗装間隔が変動
することがあります。

- ※ 安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- ※ 必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
- ※ 本来の用途以外に使用しないでください。
- ※ ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



本 社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06) 6426-3355(代) FAX(06) 6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123) 32-0431 FAX(0123) 34-6199 北 陸 ☎(076) 262-1305 FAX(076) 262-1315 四 国 ☎(0897) 65-4550 FAX(0897) 65-4576
東 北 ☎(022) 353-6951 FAX(022) 353-6952 名古屋 ☎(052) 612-0293 FAX(052) 612-0318 九 州 ☎(092) 472-2222 FAX(092) 473-5777
東 京 ☎(03) 5690-0544 FAX(03) 5690-0553 大 阪 ☎(06) 6426-3763 FAX(06) 6429-6268
静 岡 ☎(054) 245-0135 FAX(054) 247-4091 中 国 ☎(082) 264-6822 FAX(082) 264-6821 <https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。